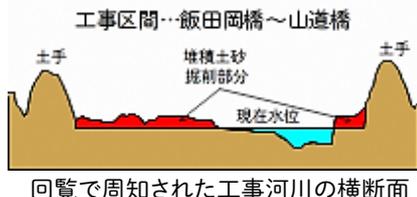


12/20(火)～ 悲願の浚渫工事はじまる

2019年の台風19号では、240mm/24hという記録的豪雨で、狩川に合流する鳥見行排水路や池田排水路の河川が氾濫して、周辺民家が床上浸水しました。以来、永く待ち望んでいた浚渫工事が、この度やっと始まりました。現在、河川の堆積土砂に繁茂する除草作業が進行中です。その後測量が行われ、範囲を決めて掘削をするそうです。これにより、狩川の流下能力を高めて、浸水被害の軽減を図るそうです。皆さんもぜひ、県(小田原土木センター)の治水対策を注視し、人命と財産を守る“災害に強い小田原”の実現を見届けましょう。



1月16日撮影司建設HPより転載

1/11(水) 地域を守る決意新たに



森下分団長と旗手鈴木副分団長



消防職・団員の仕事始めとなる消防出初式が11日開催され、大勢の見物客でにぎわいました。小田原三の丸ホールでの式典・表彰のあと、お堀端通りで「車両分列行進」が行われ、富水地区を守る第12分団と第13分団の凛々しい姿を見ることができました。昨年、富水で起きた3軒の火災にも団員・署員が迅速に対応してくれたおかげで、大事に至りませんでした。初春のお堀に向かって「一斉放水」も実施され、「はしご乗り」も披露されました。

1/21(土) 小田原囃子北ノ窪保存会が受賞

小田原三の丸ホールで開催された第18回地域活動シンポジウムで、小田原囃子北ノ窪保存会が、「おだわら地域力市民力表彰」を受賞しました。

代表者の平井吉宣さんのもと、創設38年にわたり、神社祭礼や各イベントで演奏を披露し、地域の文化発展・活性化に貢献された賜物です。



おだわら駅伝競走大会



左から杉本,山室,三橋,堂後,林,松林の各選手,木村監督

1/22(日) 駅伝で富水チーム準優勝

おだわら駅伝競走大会が、3年ぶりに開催され7区間(28.6 km)を地区対抗の部16チーム、一般対抗の部12チームが駆け抜けました。小田原アリーナを午前8時30分スタート。朝ドレフアミ前、カトリック国府津教会前、やまゆりライン、小田原球場、報徳橋を経由し、小田原アリーナでゴール。富水チームは、3区4区で追い上げ2位まで浮上。続く6区で杉本選手が区間賞となる走りをみせ、3位で最後の7区につなぎ、鈴木選手が順位を上げて準優勝となりました。沿道の声援も大きな励みになり、成績は1時間39分56秒。1位(国府津)との差は8分7秒でした。監督は「次はもちろん優勝を目指します!」と語ってくれました。